

子どもの不慮の事故予防に対する取り組み状況について

1 子どもの不慮の事故の状況

人口動態統計から本市における不慮の事故による0歳児の死亡率を見ると、ここ数年全国平均を上回っている状況があります。死亡原因では、0歳児は窒息が多く、1歳から4歳は窒息以外に転倒・転落、溺れなど、家庭内の事故が多く報告されています。低年齢児の事故を未然に防ぐには、保護者が子どもの身の回りに常に注意を払うことが大切であり、保護者の意識を高める啓発が重要となっています。また、5歳から9歳では交通事故が原因の多くを占めるようになることから、子どもの成長に伴い、事故予防の視点を変えながら取組を進める必要があります。

2 事故予防の取組のこれまでの経過

平成17年度 アントレプレナーシップ事業「セーフコミュニティ都市:横浜を創ろう！」として衛生局で事業開始

平成18年度 局再編に伴い、健康福祉局で事業継続
～19年度

平成20年度 アントレプレナーシップ事業終了により、都市経営局で事業継続

平成21年度 こども青少年局が中心となって、子どもの不慮の事故予防の推進を目的として事業を継承

3 子どもの事故予防の取組（こども青少年局）

(1) 親子保健事業における啓発

母子健康手帳と子育てガイドブックに、転落や誤飲、窒息、やけどなど、乳幼児期に起こりやすい事故とその予防法について掲載しています。「こんにちは赤ちゃん訪問事業」では、各家庭を訪問した際にお渡しする冊子に、乳児の事故予防に関する情報を記載しています。

(2) 子どもの事故予防リーフレットの作成（21年3月）

保護者が家庭内の子どもの身の回りの危険箇所を点検することで、事故予防に対する意識が高められるよう、保護者への啓発を目的としたリーフレットを作成し、区役所、地域子育て支援拠点などに、計4万3千部を配布しました。

(3) 区・局との連携

昨年度に青葉区で開催された「健康フェスティバル」、昨年度と今年度に安全管理局が開催した「子どもの安全の日啓発イベント」においてリーフレットを配布するなど、来場者に向けた子どもの事故予防の啓発活動に、区や他局と連携して取り組んでいます。

(4) 「子どもの事故予防ポータルサイト」の開設（21年8月）

子どもの事故予防に関する情報、各局の子どもの事故予防の取組を集約したポータルサイトを開設し、市民への情報発信を開始しています。

4 検討会の設置

これまでも、子どもの事故予防に各区局それぞれが取り組んできましたが、今後区局が連携して取り組んでいくため、今年度から「横浜市子どもの安全・防犯調整会議」（議長：金田副市長、委員：関係区局長、安全管理局所管）の下部組織として、こども青少年局を中心に、関係局の参加による「横浜市子どもの事故予防対策検討会」を設置し、全庁的な推進体制を整備しました。（第1回を6月に開催）

(1) 協議事項

- ・ 子どもの事故予防についての情報交換
 - ・ 子どもの事故予防に関連する事務事業の円滑な実施のための相互連携
 - ・ 庁内における子どもの事故予防推進上の課題及びその解決策の検討 等
- ※検討会では、0歳から小学校中学年までの子どもの事故予防を中心に検討を行います。

(2) 組織

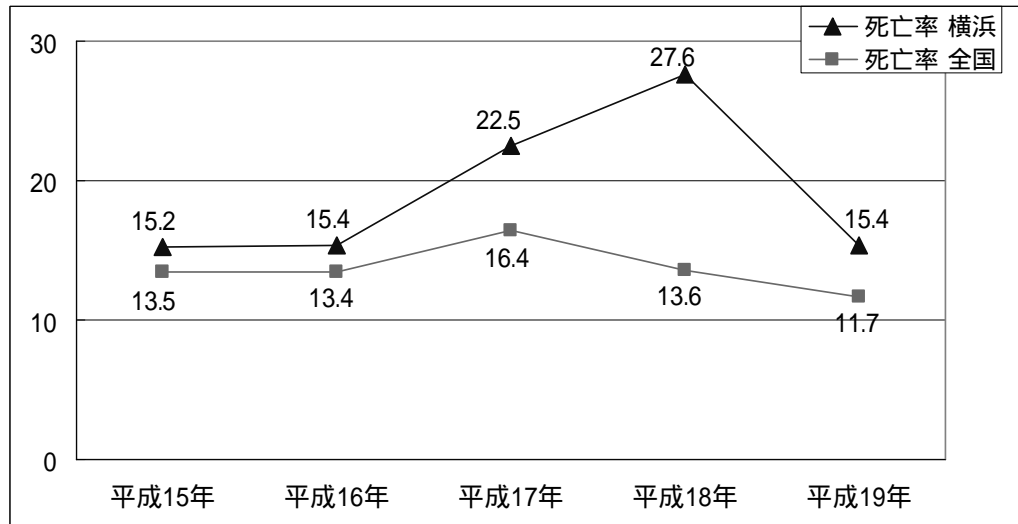
関係局の課長職で組織しています。

局	職
こども青少年局	企画調整課長（座長）
都市経営局	政策課担当課長
市民活力推進局	区連絡調整課長
健康福祉局	企画課長
環境創造局	公園緑地管理課長
道路局	交通安全・放置自転車課長
安全管理局	危機管理課長、企画課長、予防課長、地域安全支援課長
教育委員会事務局	教育政策課担当課長、小中学校教育課長

5 今後の取組

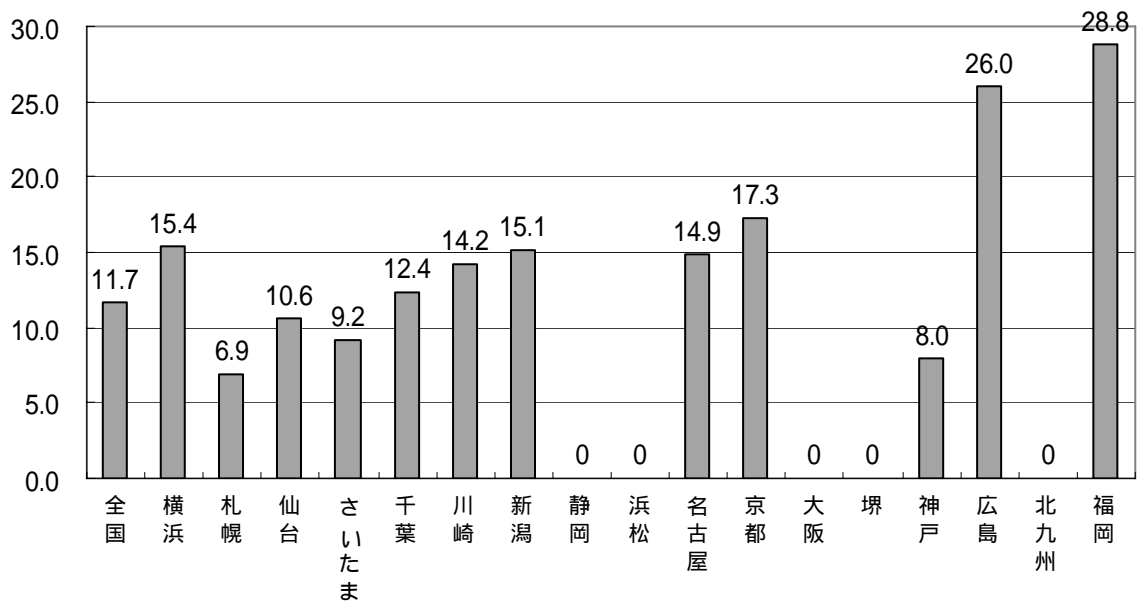
区・局が実施する子どもの事故予防の取組の調査を8月に実施しており、その区局の取組状況を踏まえ、区局間の連携による啓発を実施し、総合的な子どもの事故予防の取組を推進していきます。

1 過去5年間の不慮の事故による乳児死亡率(出生10万人対) (平成15年~平成19年)



		平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
死亡率	横浜	15.2	15.4	22.5	27.6	15.4
	全国	13.5	13.4	16.4	13.6	11.7
死亡数 (人)	横浜	5	5	7	9	5
	全国	152	149	175	149	127

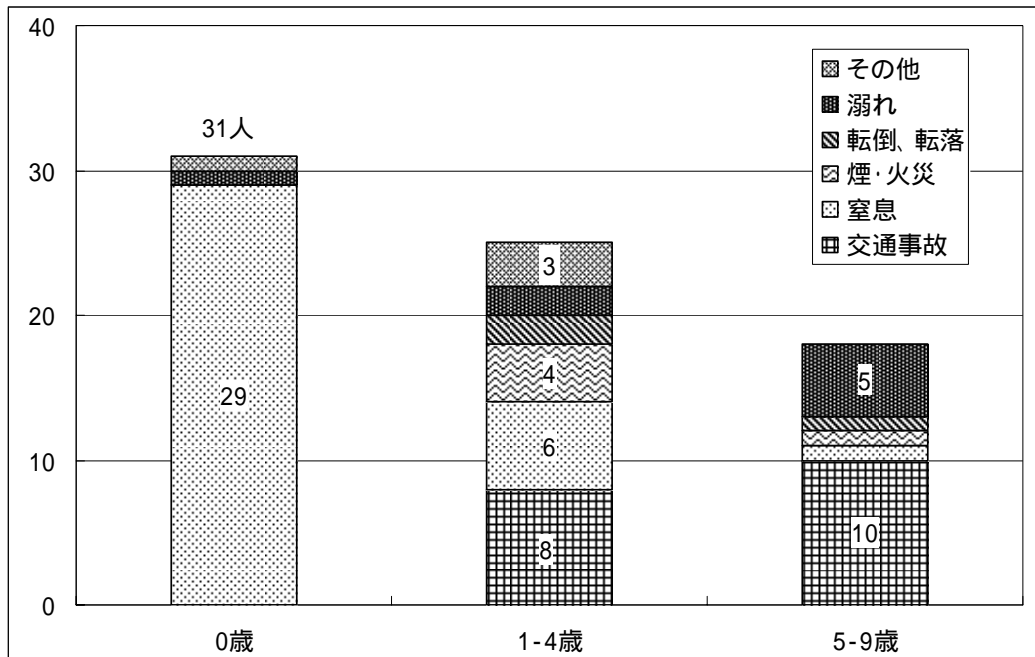
2 乳児死亡率(出生10万人対)の政令市比較(平成19年)



都市名	全国	横浜	札幌	仙台	さいたま	千葉	川崎	新潟	静岡
乳児死亡率	11.7	15.4	6.9	10.6	9.2	12.4	14.2	15.1	-
乳児死亡数	127	5	1	1	1	1	2	1	-

都市名	浜松	名古屋	京都	大阪	堺	神戸	広島	北九州	福岡
乳児死亡率	-	14.9	17.3	-	-	8.0	26.0	-	28.8
乳児死亡数	-	3	2	-	-	1	3	-	4

3 横浜市における過去5年間の子どもの不慮の事故による死亡総数(平成15年から平成19年までの総数)



	交通事故	窒息	煙・火災	転倒、転落	溺れ	その他	計
0歳	0	29	0	0	1	1	31
1-4歳	8	6	4	2	2	3	25
5-9歳	10	1	1	1	5	0	18

「人口動態統計」より